

平成 27 年度工学連携推進型地域 6 次産業人材育成事業開講式

(社会連携推進センター)

7 月 28 日 (火)、社会連携推進センターが中心となり進めている「工学連携推進型地域 6 次産業人材育成事業 (旧・新時代工学的農業クリエイター人材創出プラン)」の開講式を行いました。

本事業は、第 1 次産業製品の工業製品化を地域戦略の柱とし、健康と安心・安全をキーワードにした新規作物の作付けから商品開発・事業化までの知識とスキルを持つ「工学的農業クリエイター」の創出を目指す人材育成プログラムです。本学が取り組んでいる人材育成活動であり、昨年度からは北見市の協力も得て運営しています。

開講式では、川村彰社会連携推進センタ

一長による開講の挨拶に続き、受講生による自己紹介・決意表明、有田敏彦社会連携推進センター教授による事業説明が行われました。今年度の受講生は社会人 2 名、本学学生 2 名の計 4 名です。社会人受講生は、昨年度から 3 年間の計画で行っているタマネギソースや小麦関連商品の開発を継続します。学生受講生は、地域の大豆粉を活かした商品の開発や、微生物の活用による地域 6 次産業の創出に挑戦します。

本事業では、本学工農連携研究ユニットの活動と連動させながら、修了生の継続的なフォローアップや人材育成を推進していく予定です。



開講式で挨拶する川村社会連携推進センター長